

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	08	0401	文化財保護活用事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》  
文化財の保護と活用

《事業開始の背景》  
文化財保護法（昭和25年5月30日法律第214号）、花巻市文化財保護条例（平成18年1月1日条例第242号）の制定により、市内にある各分野の文化財を調査し、重要なものについて指定を行い、その保存、活用及び伝承のため必要な措置を講じてきた。

《事業概要》  
 ○市が所有する文化財の管理事務  
 花輪堤花菖蒲群落・旧小原家住宅・伊藤家住宅・熊谷家  
 ○市指定文化財修理費補助金  
 ○文化財愛護協会負担金  
 ○市内に所在する指定文化財の周知  
 市広報誌・ホームページ、説明看板、調査報告書、ガイドブック  
 ○市内に所在する文化財の調査と文化財調査報告書の作成  
 ○文化財セミナー・自然観察会の開催

市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 指定解除された文化財の件数	件	目標	0	0	0
		実績	0	1	
② 市内の文化財等を6つ以上知っている市民の割合	%	目標	50.0	50.0	50
		実績	32.0	34.3	
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
人づくり	教育部	文化財課	大内典子	9-30-353

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	9,148				
財源内訳	国庫支出金	2			
	地方債				
	その他				
	一般財源	9,146			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

## 花巻市の文化財保護の考え方

『花巻市文化財保護指針』に基づき実施します

**1 文化財を知ること 事業費 3,645千円**

文化財を詳しく調査し、魅力ある地域づくりのため広く情報を発信します

【内容】 文化財の調査ならびに報告書の作成  
文化財説明板の新規設置や修繕

**2 文化財を守ること 事業費 5,433千円**

指定文化財が次の世代に受け継がれるよう保護や支援に努めます

【内容】 市が所有する古民家や天然記念物の維持管理  
個人が所有する指定文化財の修理費の補助

**3 文化財を活かすこと 事業費 70千円**

文化財に親しむためにセミナーや自然観察会を開催します

【内容】 文化財セミナーや早池峰自然観察会の実施

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	08	0401	文化財保護活用事業

総合計画	政策	地域で支える子育てと教育のまちづくり	施策	4-4	創造性豊かな芸術文化の振興
目的	文化財の保護と活用				
対象	市民及び指定文化財（将来的に文化財として指定する価値があるものを含む）				
意図	文化財に対する興味、関心が深まり、文化財愛護意識を育ち、文化財の保護と活用ができる。				

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

- 市が所有する文化財の管理事務  
花輪堤花菖蒲群落・旧小原家住宅・伊藤家住宅・熊谷家
- 市指定文化財修理費補助金
- 文化財愛護協会負担金
- 市内に所在する指定文化財の周知  
市広報誌・ホームページ、説明看板、調査報告書、ガイドブック
- 市内に所在する文化財の調査と文化財調査報告書の作成
- 文化財セミナー・自然観察会の開催

市民参画の有無 [ 対象外 ]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input checked="" type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 新規に指定された文化財の件数	件	計画	2	1	1
		実績	1	2	
② 指定文化財の管理にともなう補助対象件数	件	計画	2	2	2
		実績	2	1	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 指定解除された文化財の件数	件	目標	0	0	0
		実績	0	1	
② 市内の文化財等を6つ以上知っている市民の割合	%	目標	50.0	50.0	50
		実績	32.0	34.3	
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度  目標値より高い  概ね目標値どおり  目標値より低い

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

文化財所有者から指定要件の問い合わせや、修理費補助に対する要望があった。

目的妥当性	<p>公共関与の妥当性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	<p>地域において過疎化や少子高齢化が進行し、加えて経済状況の悪化に伴い、市民共有の財産である文化財を保存、伝承する環境は良好とは言えない。文化財は人と人とを結び付け、地域の活性化や魅力あるまちづくりに貢献するものとして、行政がその絆を取り持つ役割は大きい。</p>
有効性	<p>成果の向上余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	<p>地域コミュニティ会議と連携を図りながら、文化財説明板の設置や修繕を継続的に行うことで文化財の現状を把握でき、適切な保存に結び付けることができる。 市広報紙やホームページはもとより、ガイドブックを効果的に活用することで、より多くの市民の関心を引くことが期待される。</p>
効率性	<p>事業費・人件費の削減余地</p> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	<p>文化財は地域のシンボルとしての側面を持ち、市民教育や観光振興においても大きな価値を伴う。経費の削減は地域コミュニティの沈滞を招き観光事業に大きな損失となる。 管理体制についても、地域と一体となった管理を行っているため経費削減により適切な維持管理が難しくなる。</p>
公平性	<p>受益と負担の適正化余地</p> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	<p>指定文化財が市民共有の財産として、可能な限り積極的な公開・活用を図っている。所有者に対しては、管理や修繕に要する費用の一部を補助している。</p>

《総合評価》…上記評価結果の総括

- ・無形民俗文化財として新たに「湯本田植踊」を指定し、又、初めて無形文化財として「花巻傘」を指定し伝承の保存と育成を図った。「好地のシダレアカマツ」は、枯死したので指定を解除した。
- ・花巻市指定文化財修理費補助金交付要綱の一部を改正したことにより、天然記念物の保護、増殖、育成環境の保全に対する経費が補助対象に加えられ、補助対象範囲が広がった。この改正後、市指定天然記念物、外川目の諏訪神社の千歳桜について環境改善費用に対する補助を行い、文化財所有者の負担の軽減が図られた。